

デイサービスセンター

デイサービスで3ヶ月ごとに作成していただいている壁面の夏バージョンが完成しました。「ひまわり」「あじさい」「金魚」「麦わら帽子」を厚紙、フェルト、折り紙、ひもなどさまざまな素材で作り、それを組み合わせて和紙に貼り付けました。完成した壁面を見て「わーきれい」「かわいいね」など皆様満足そうに見られていました。

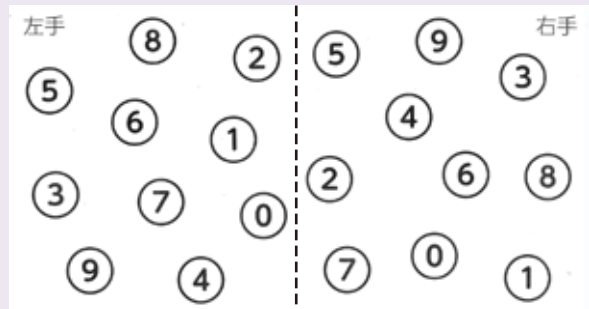


【利用時間】要支援 / 10:00~15:30
要介護 / 9:30~16:45
【利用日】月~土曜日
ご利用希望の方はケアマネージャーもしくは香東園支援センターまで。見学も可能です。お気軽にお問い合わせください。

手指の体操で、認知症予防を!!

昔から、「手先を使った細かい作業は脳にいい」と言われてきました。昔の人は経験から、手指と脳の密接な関係に気づいていたのだと思います。実際に、手指の動きを通しての脳への刺激は、体のほかの部位以上に、脳を活性化させることが明らかになっています。体の各部位がどのように配置されているか表現した、脳の運動野の図においても、手指と顔が他の部位よりも大きな面積を占めているのが分かります。つまり、手指を動かす事は他の部位を使うより、脳を刺激する効果が高いと言う事なのです。一日だけ長い時間かけて運動するよりも、毎日5分でもいいから続けて運動を行う方が良いでしょう。

【手指の運動: 数字をタッチする】
基本の動き: 「ゼロ、イチ、ニ、サン…」と声に出しながら、左右それぞれ親指で、0~9の順にタッチする。人差し指、中指、薬指、小指でも同様に行う。



医務室だより

何も考えずボーっとしている時、脳もボーっとしているかと思いきや、実はとても活発に動いているそうです。それも意識的に活動している時の15倍もエネルギーが使われているというから驚きです。そしてそれが脳にとってとても大切な時間だということがわかってきました。車でいう「アイドリング状態」のようなもので情報や記憶の整理をし、意識的な脳活動の為の準備をしているらしい…。

脳が消費するエネルギーのうち、本を読んだり、仕事をしたりといった「意識的行動」に使われるエネルギーは全体のわずか5%程度。約20%のエネルギーは、脳細胞のメンテナンスに充てられ、残りの75%のエネルギーが「何もせずにぼんやりしている時の活動」の為に使われているのだそうです。

忙しい毎日、わずかな時間も無駄にしたいくないですが、ボーッと力も偉大です。



盲養護老人ホーム

香川県視覚障害者福祉センターより、施設見学に来られました。



H30.6.12 赤い羽根共同募金助成により軽自動車(タイハツ:タント)1台購入しました。盲養護老人ホームの車両として、大切に使用させていただきます。

小さなボランティアプルタブ集め



39.4kg
2018.6月現在

御協力ありがとうございました。

富士屋に外食♪



家庭菜園(^^)

今年は、空豆を作りました。



俳句クラブ

- 大輪の薔薇を咲かせて客を待つ 誠夫
- 母に聞き麦わらかごを編む姉妹 隆子
- サクサクと麦刈る母や山畑 マル子
- 薔薇展で見とれてしまひ時忘れ イワエ
- 縁側の猫の居場所は藤寝椅子 忠弘
- 薔薇園の真中に立ちて物思い 千代子

特別養護老人ホーム

今回はクッキング特集です。クッキングは月に1度開催しています。ベランダ菜園で収穫した野菜を調理したり、利用者様のリクエストを元に、季節を感じられるメニューにしています。



職員紹介



介護課長
古川 かおり

久しぶりに特養に戻ってきました。毎日みなさんと笑って過ごしたいと思っています。よろしくお願いします。



介護職員
福原 大介

4月に絹島荘から異動で香東園に来ました。まだまだ分からない事だらけですが、少しずつ覚えていけたらと思います。



栄養士
山地 里奈

4月より盲養護老人ホームから特養に異動になりました。利用者様に喜んで頂ける食事提供に日々努めていきたいと思っています。